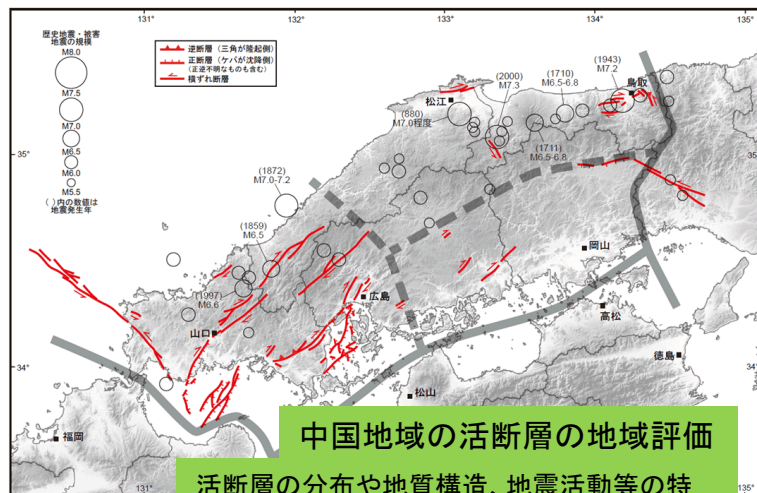


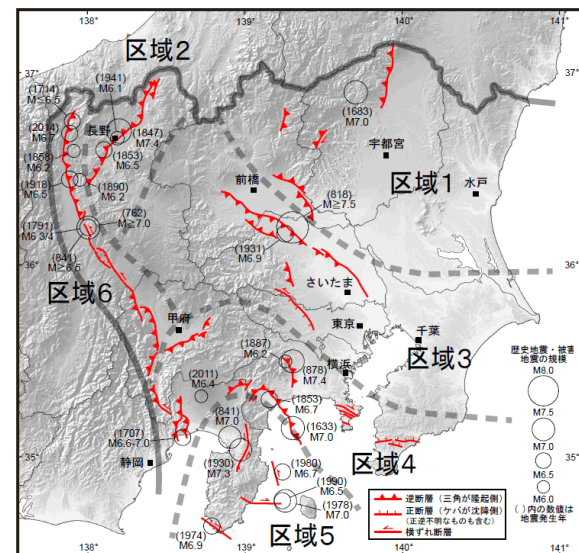
日本海南部の海域活断層の長期評価 における区域分けに関する資料

活断層の地域評価における区域分け

活断層の地域評価では、活断層の分布、断層の型及び活動性、地質構造、地震活動に基づいて区域分けが行われている

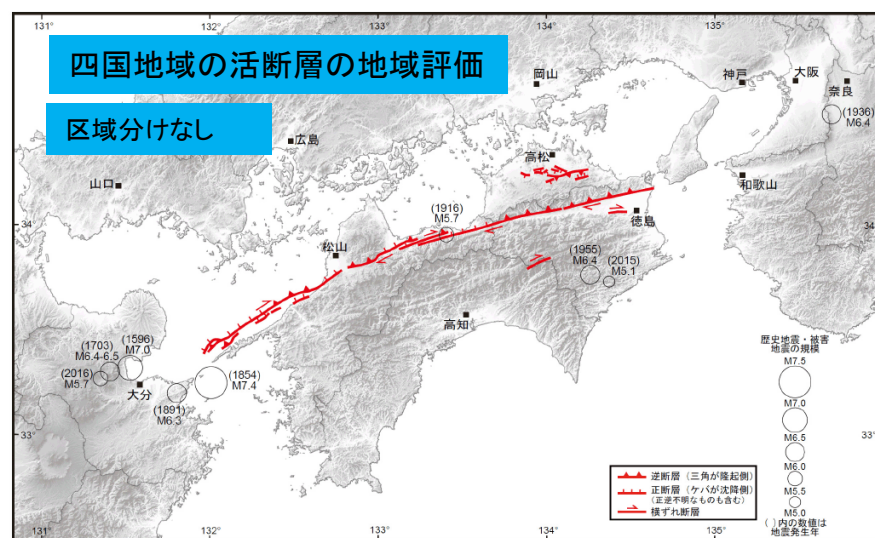


活断層の分布や地質構造、地震活動等の特徴を基に、中国地域を北部、東部、西部の3つの区域に分割

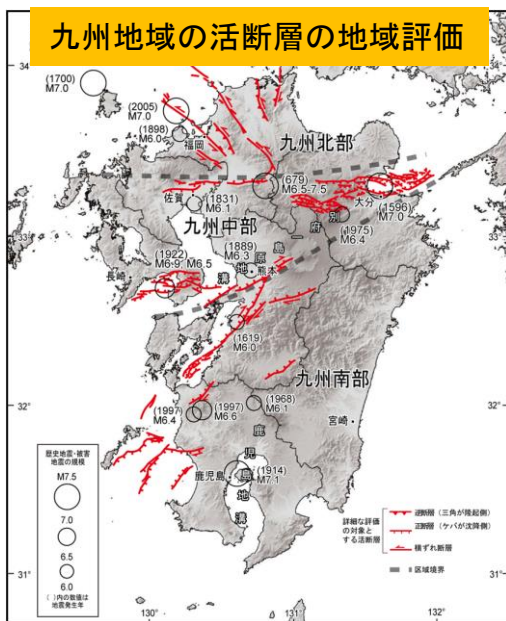


関東地域の活断層の地域評価

地質構造や地震活動等の特徴を基に、関東地域を東北日本弧南方延長、信越褶曲帯、関東山地－関東平野、伊豆－小笠原弧の衝突・プレート沈み込み帯、伊豆－小笠原弧、及び、糸魚川－静岡構造線周辺の6つの区域に分割

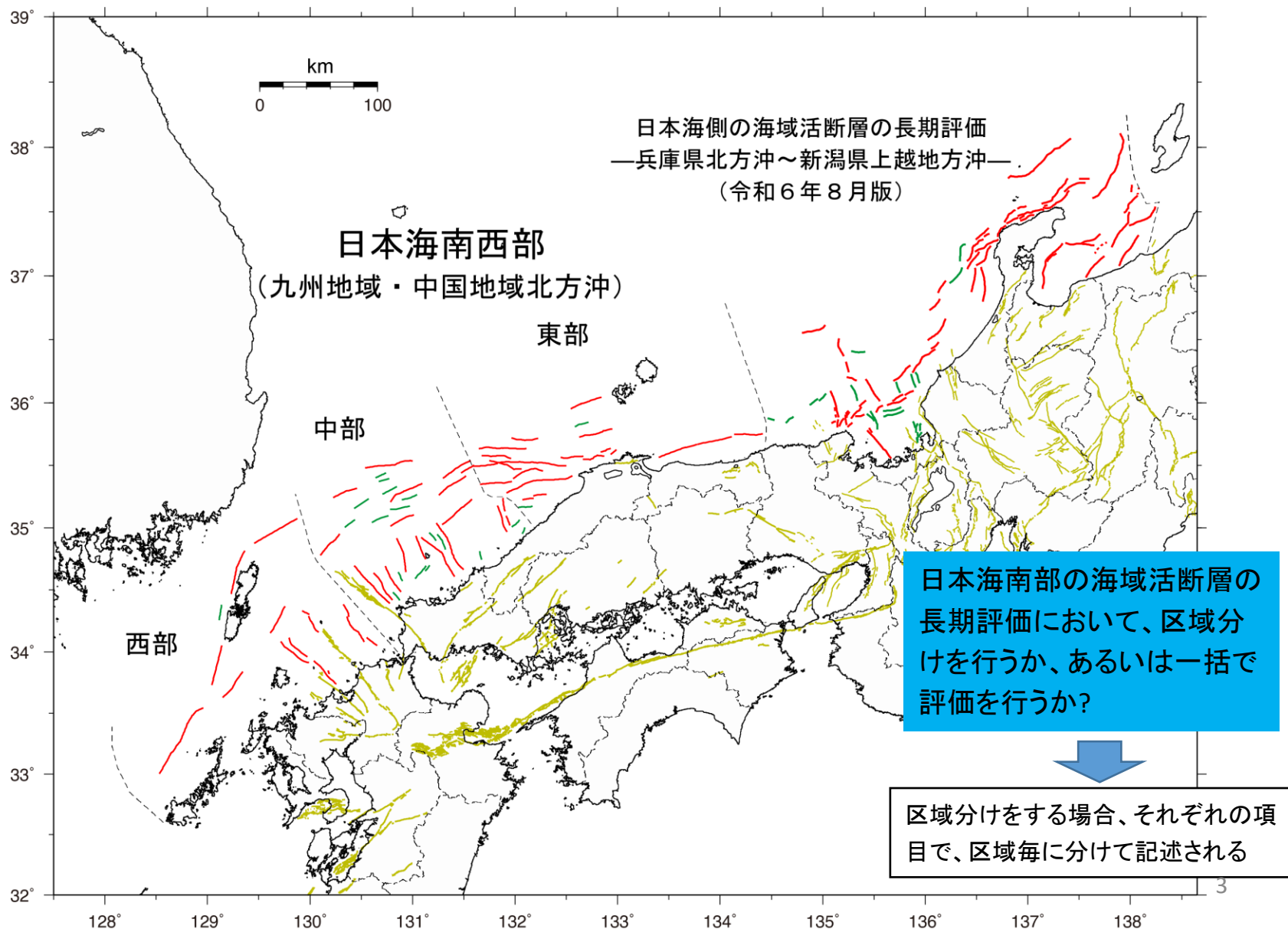


九州地域の活断層の地域評価



九州地域の活断層の分布、断層の型(正断層・逆断層・右横ずれ断層といったずれのタイプ)及び活動性には地域性があり、九州地域を九州北部、中部、南部の3つの区域に分割

日本海南西部の海域活断層の長期評価(第一版)に おける評価対象海域との関係

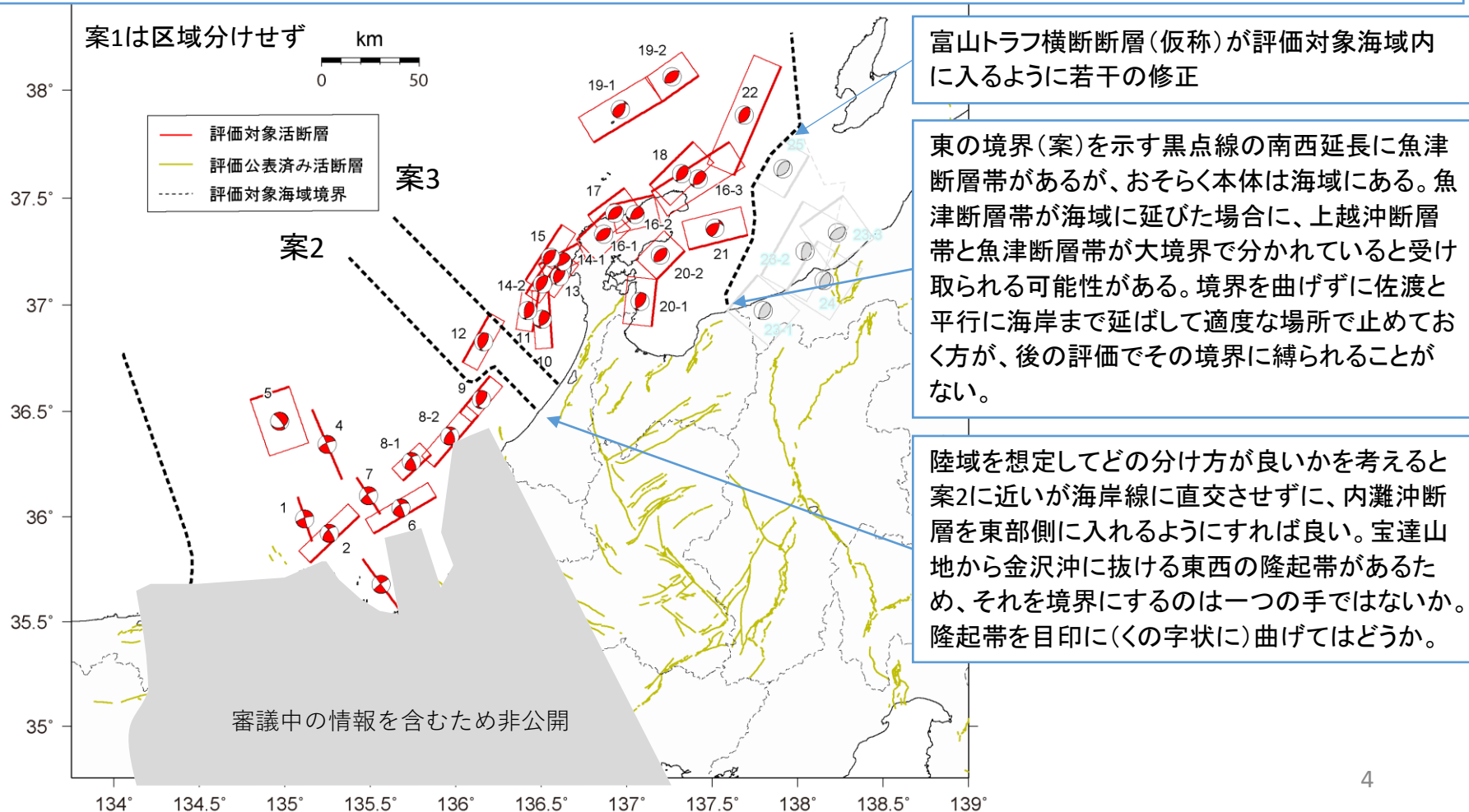


日本海南部の区域分けについて

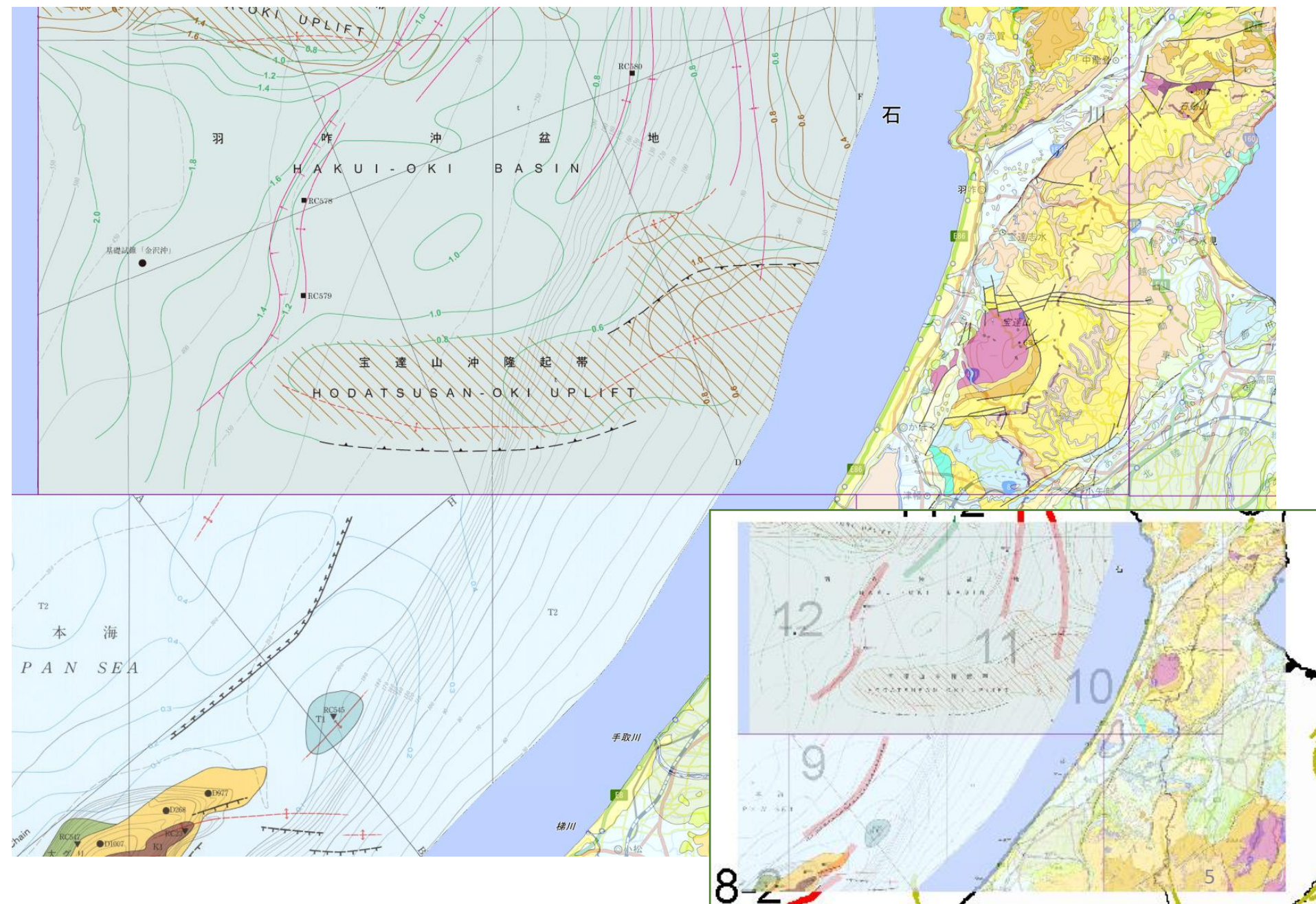
第30回分科会における議論のポイントならびにいただいたご意見

- ❑ 日本海南部の東側境界部について(事務局案で妥当かどうか)
- ❑ 日本海南部を区域分けするかどうか。区域分けをする場合、どのように分けるべきか。

日本海南西部の区域分けと比べると日本海南部は全体で一つとすると広いため、二つに分けた方がよい(案2、案3)



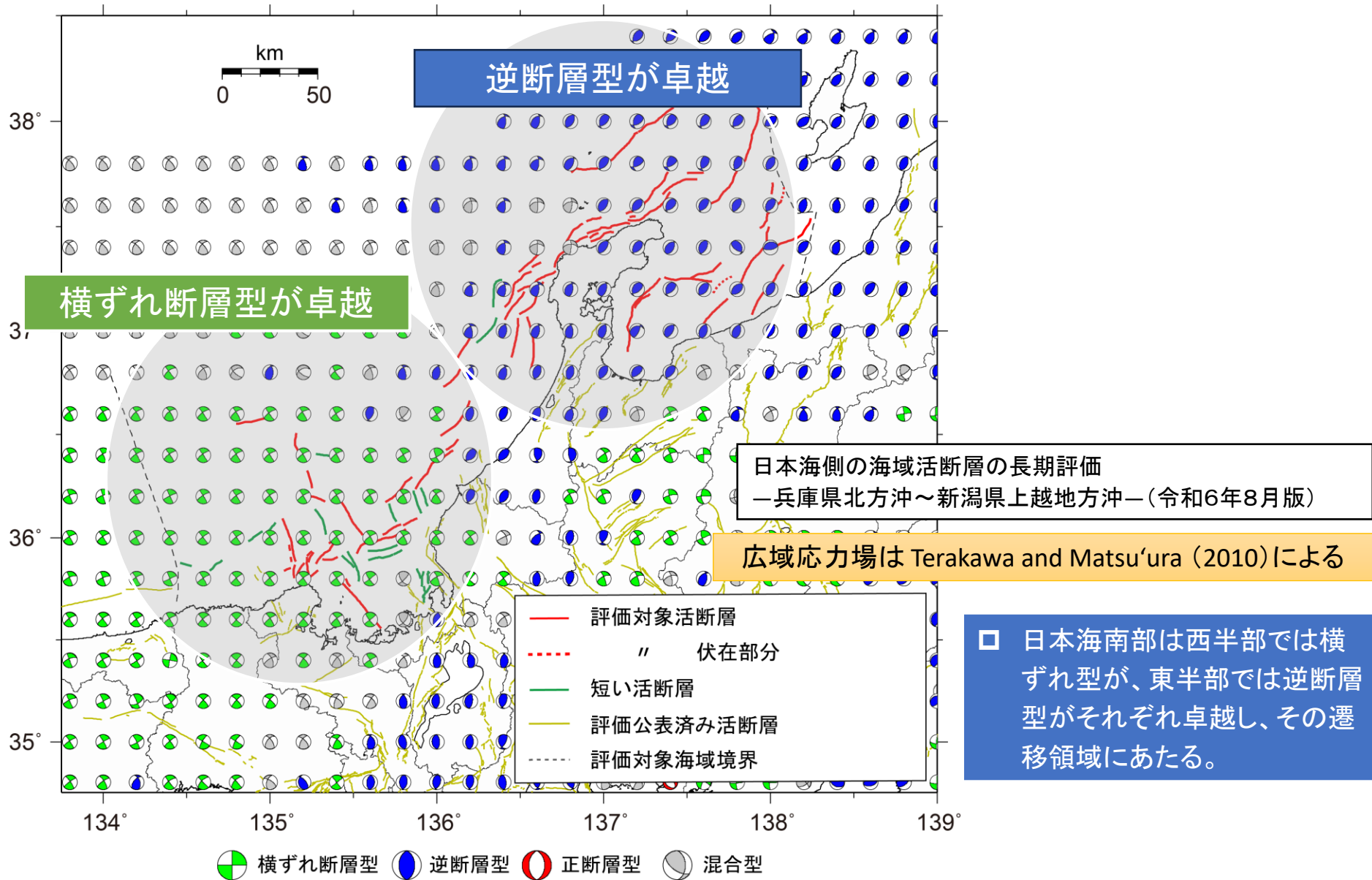
地質図Navi（産総研地質調査総合センター）



中日本地域内の細分区域案

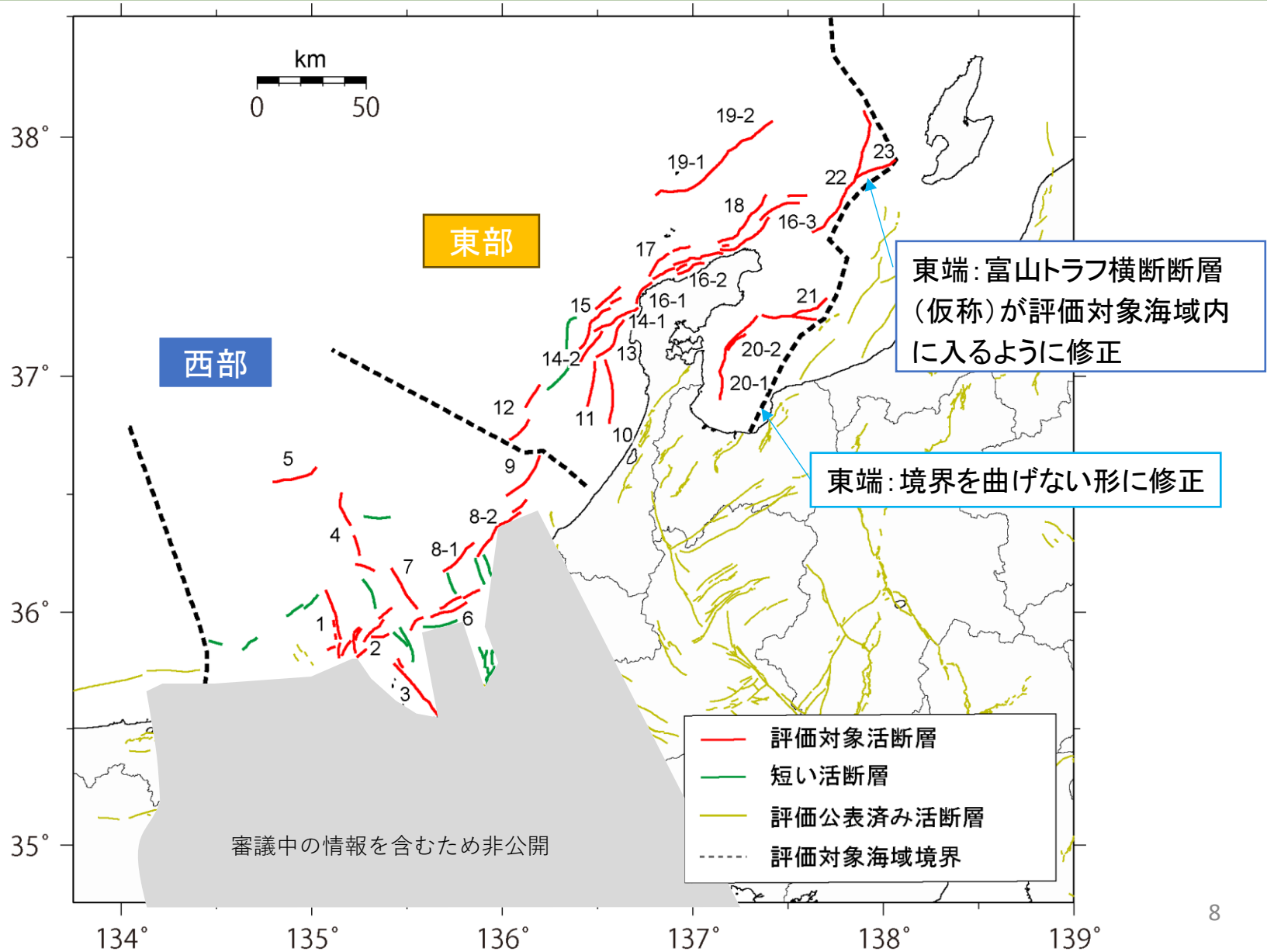
審議中の情報を含むため非公開

三次元広域応力場(深さ10 km)

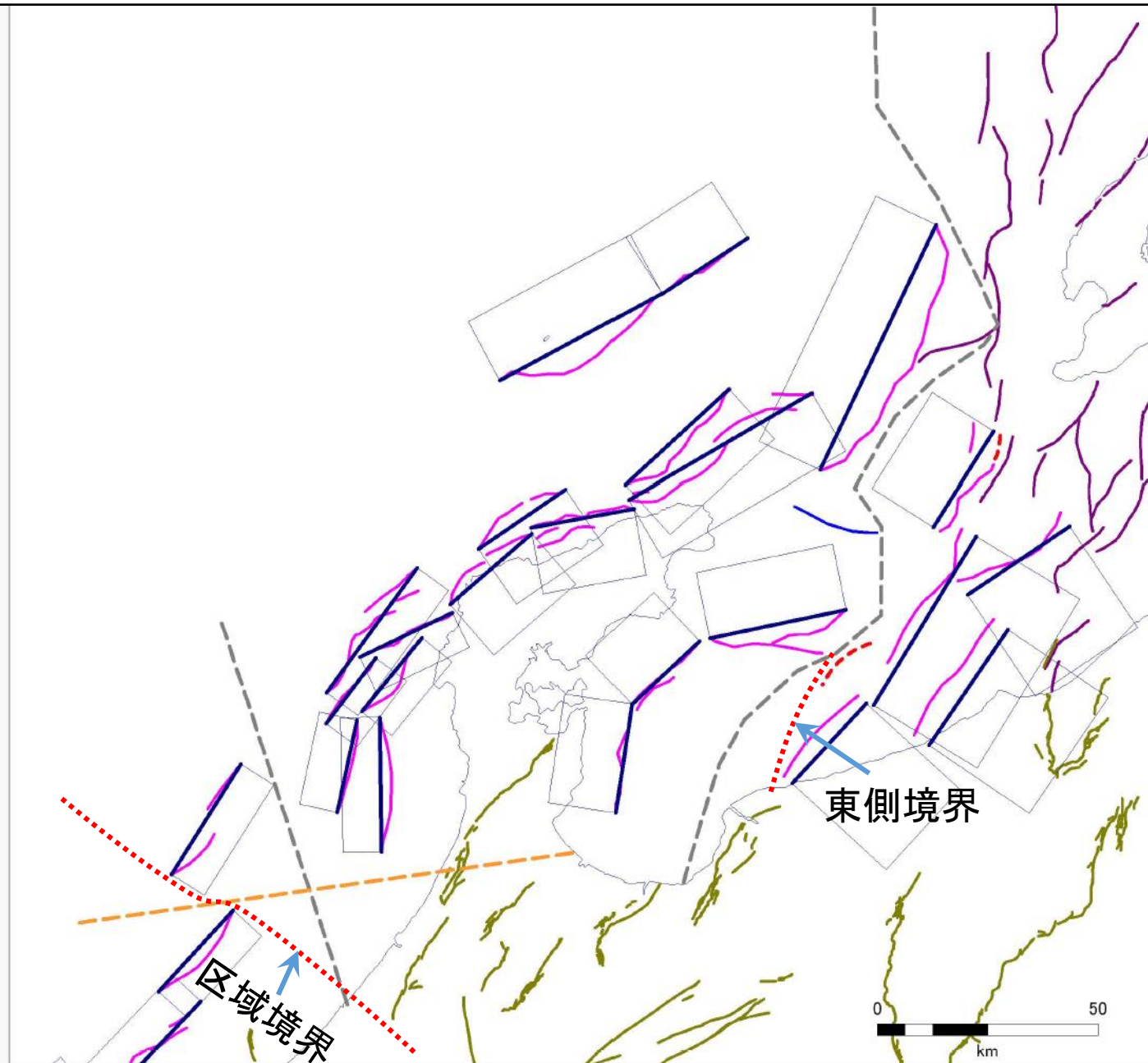


日本海南部の評価対象海域と区域分け(案)

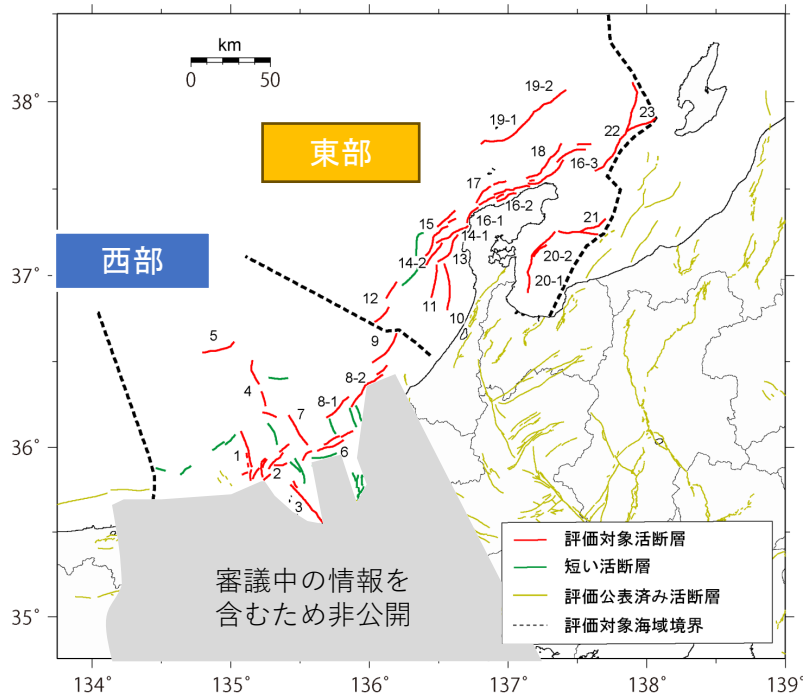
区域分け線: 陸域の区分け・区域の面積比・広域応力場・陸域との角度・断層の分布を考慮



日本海南部の評価対象海域と区域分け(案)



日本海南部の評価対象海域と区域分け(案)



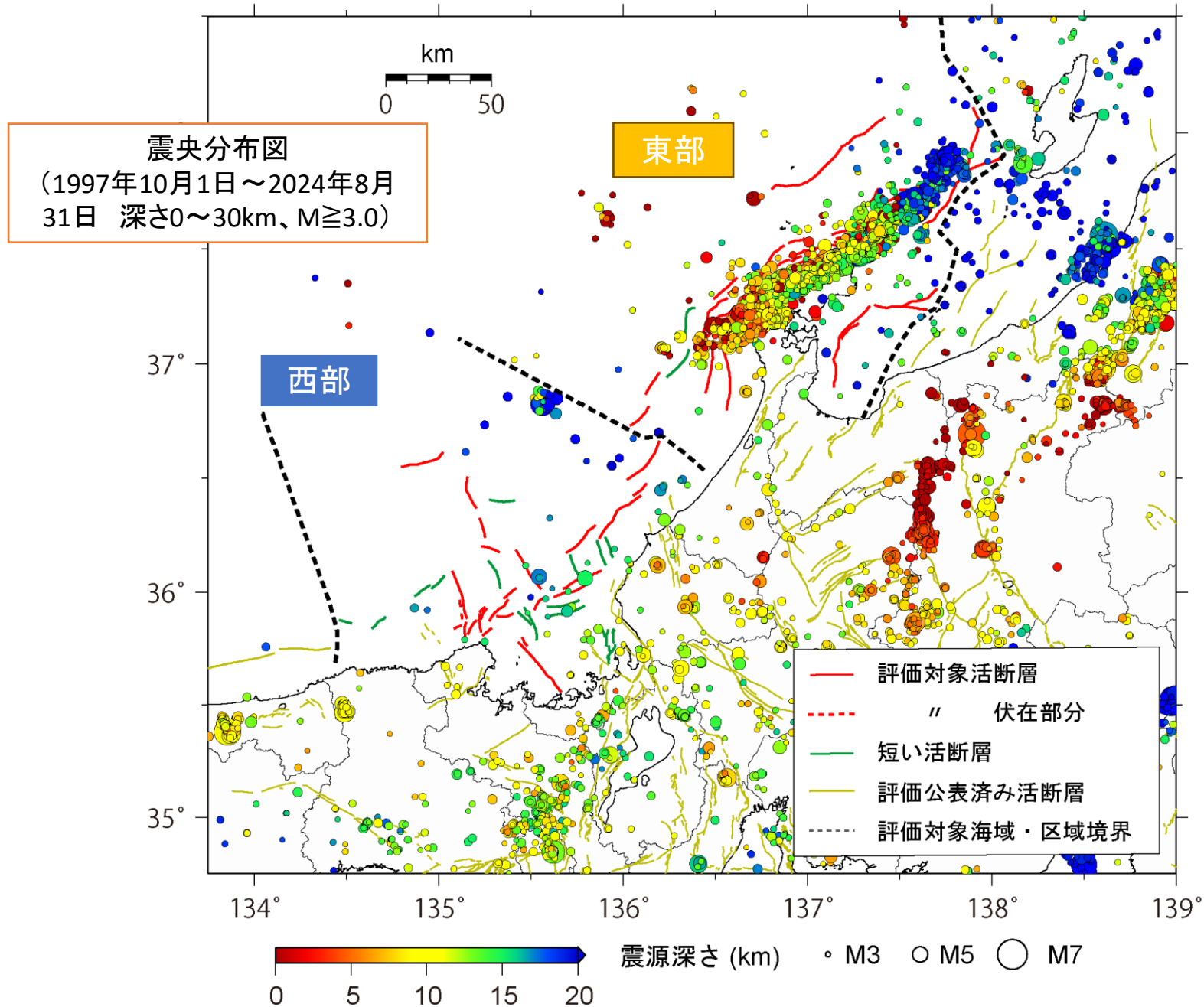
東部(14断層(帯))

- 10: 羽咋沖東断層
- 11: 羽咋沖西断層
- 12: 内灘沖断層
- 13: 海士岬沖東断層
- 14-1: 門前断層帯(門前沖区間)
- 14-2: 門前断層帯(海士岬沖区間)
- 15: 沖ノ瀬東方断層
- 16-1: 能登半島北岸断層帯(猿山沖区間)
- 16-2: 能登半島北岸断層帯(輪島沖区間)
- 16-3: 能登半島北岸断層帯(珠洲沖区間)
- 17: 輪島はるか沖断層
- 18: 能登半島北方沖断層
- 19-1: 舳倉島(へぐらじま)近海断層帯(南西区間)
- 19-2: 舳倉島(へぐらじま)近海断層帯(北東区間)
- 20-1: 七尾湾東方断層帯(大泊鼻沖区間)
- 20-2: 七尾湾東方断層帯(城ヶ崎沖区間)
- 21: 飯田(いいだ)海脚南縁断層
- 22: 富山トラフ西縁断層
- 23: 富山トラフ横断断層(仮称)

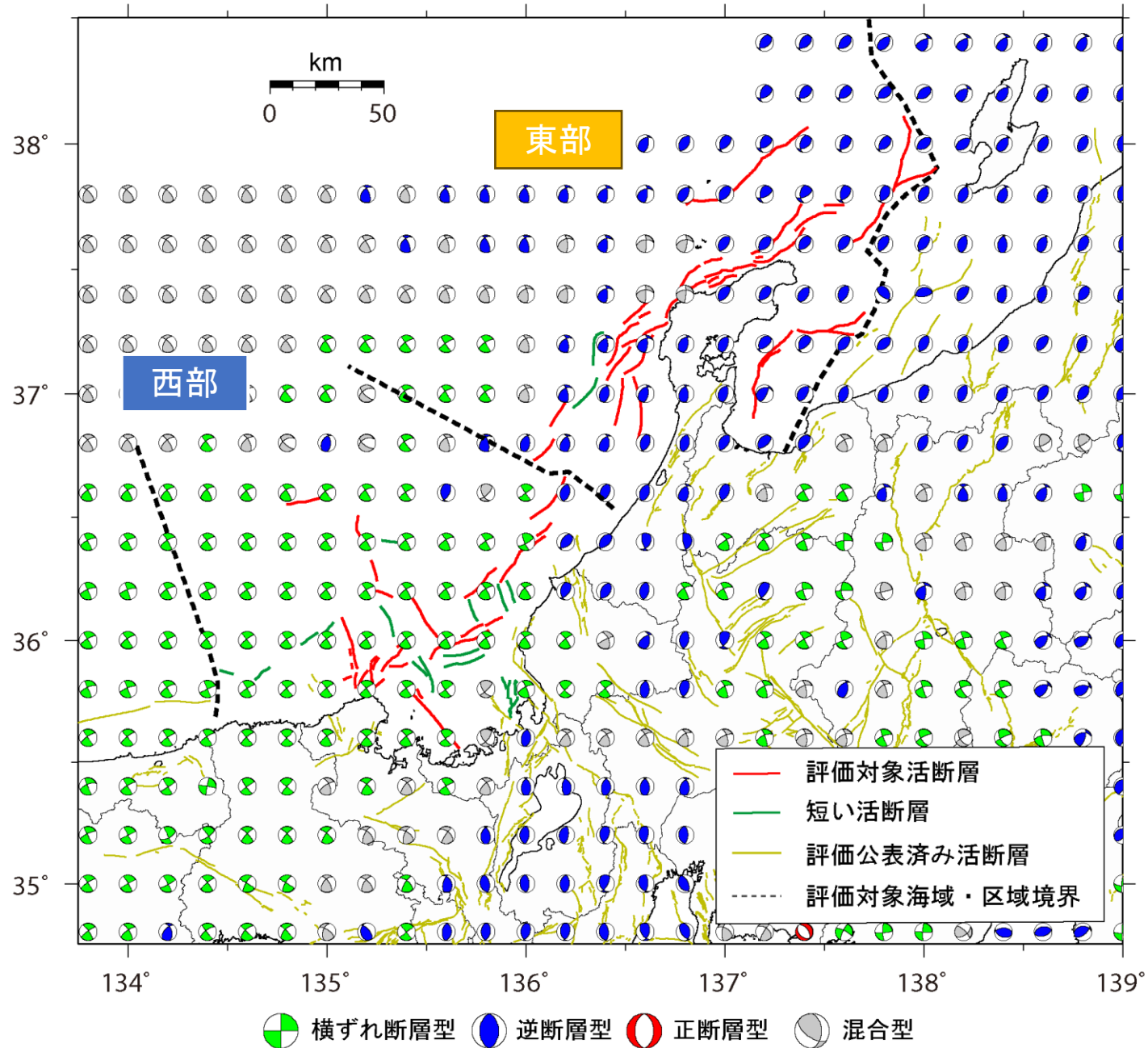
西部(9断層(帯))

- 1: 沖ノ礁北方断層
- 2: 経ヶ岬沖断層
- 3: 小浜沖断層
- 4: 浦島礁北方北断層
- 5: 若狭海丘列北縁断層
- 6: 越前岬西方沖北断層
- 7: 浦島礁北東断層
- 8-1: ゲンタツ瀬・大グリ南東縁断層帯(ゲンタツ瀬区間)
- 8-2: ゲンタツ瀬・大グリ南東縁断層帯(大グリ区間)
- 9: 加佐ノ岬沖断層

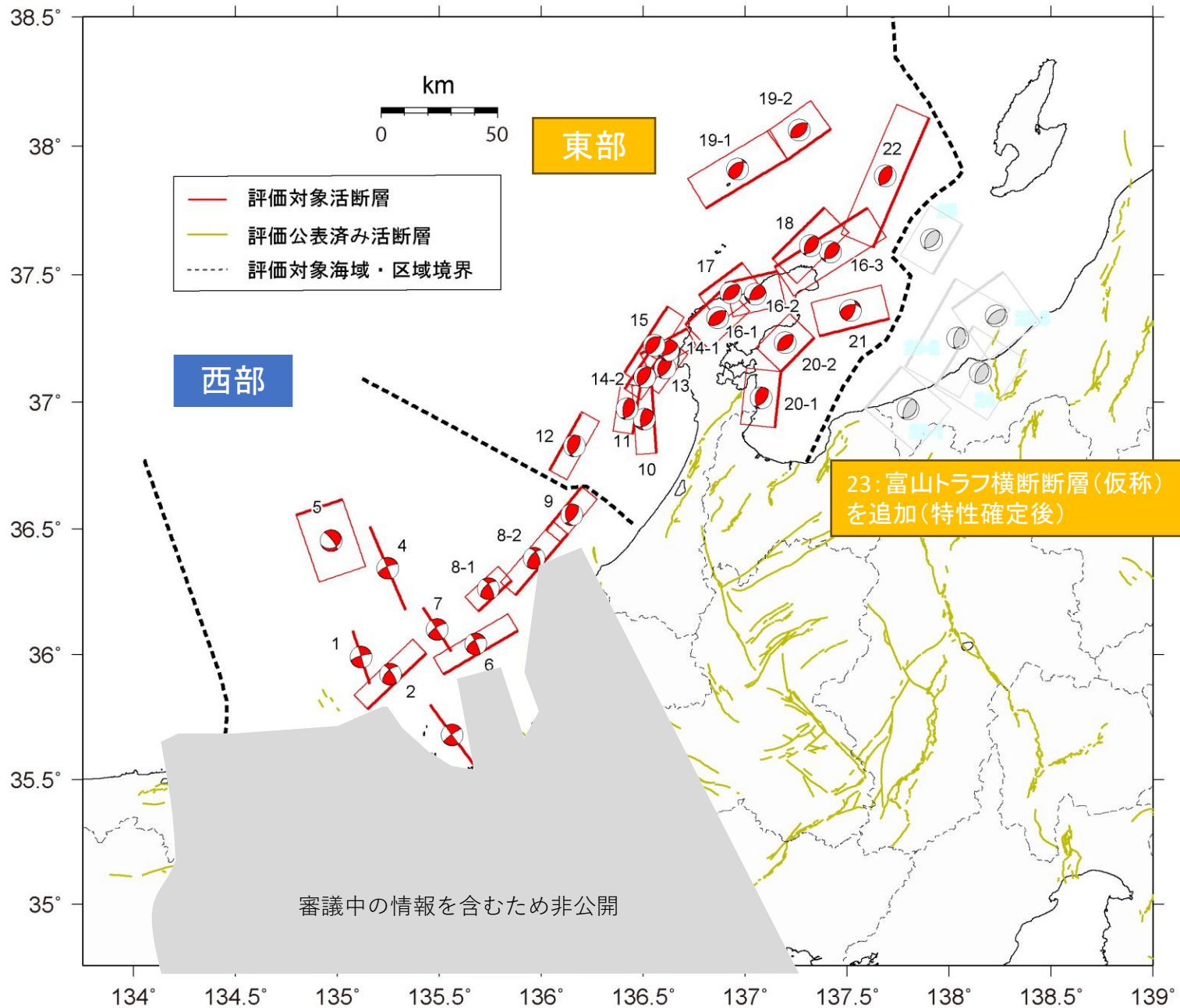
日本海南部における地震活動と区域分け(案)



三次元広域応力場と区域分け(案)

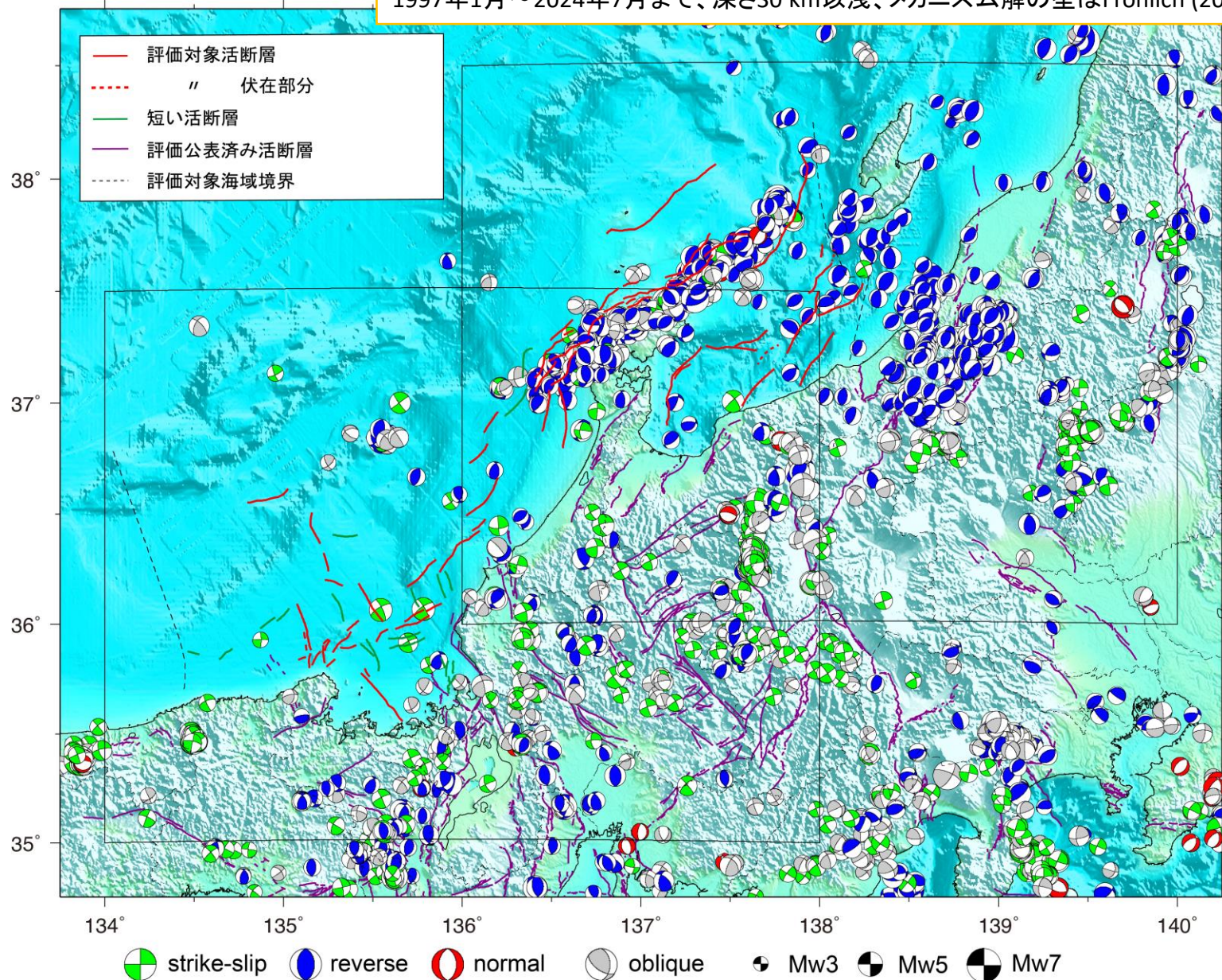


断層モデルと区域分け(案)

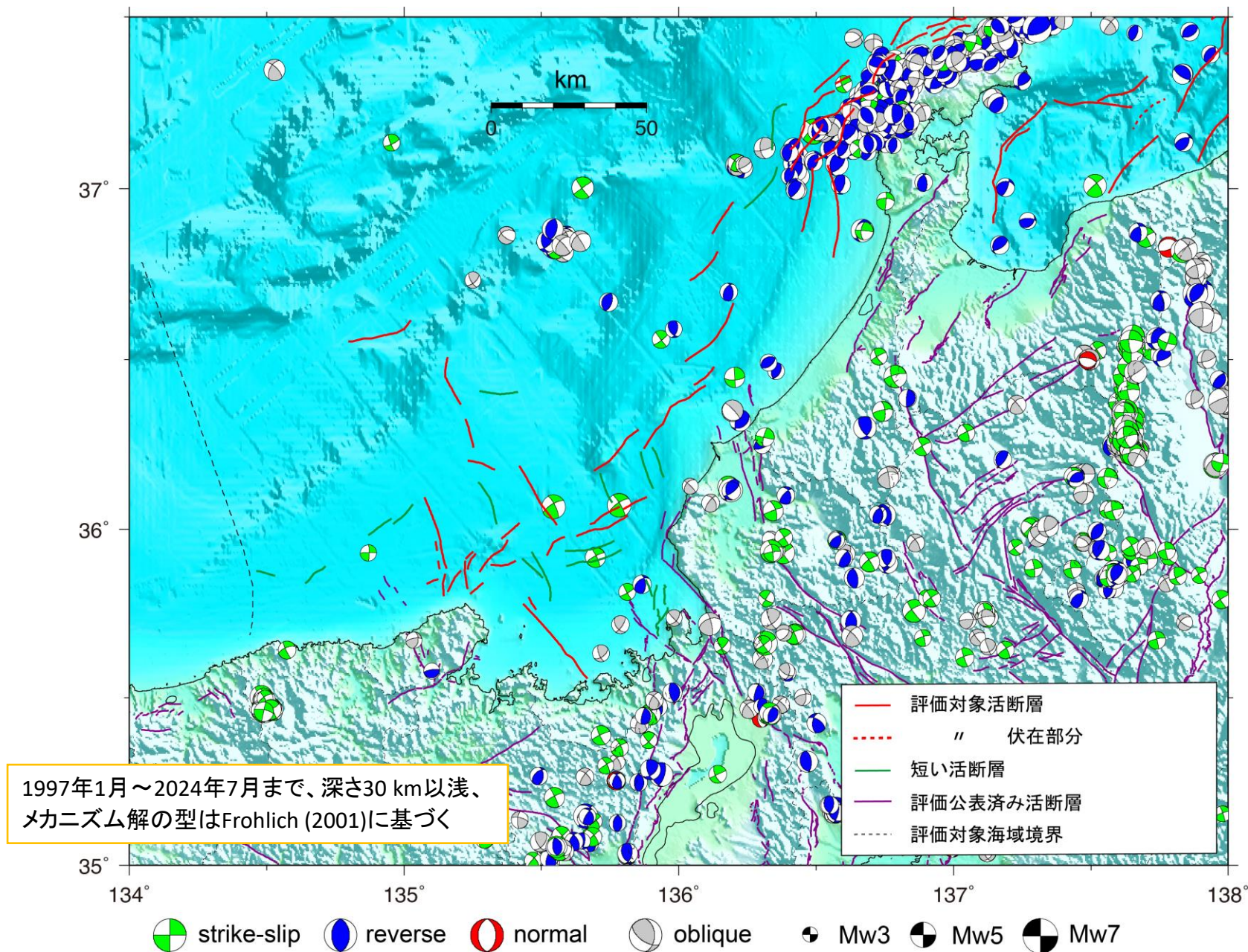


発震機構解の分布(F-net: 全域)

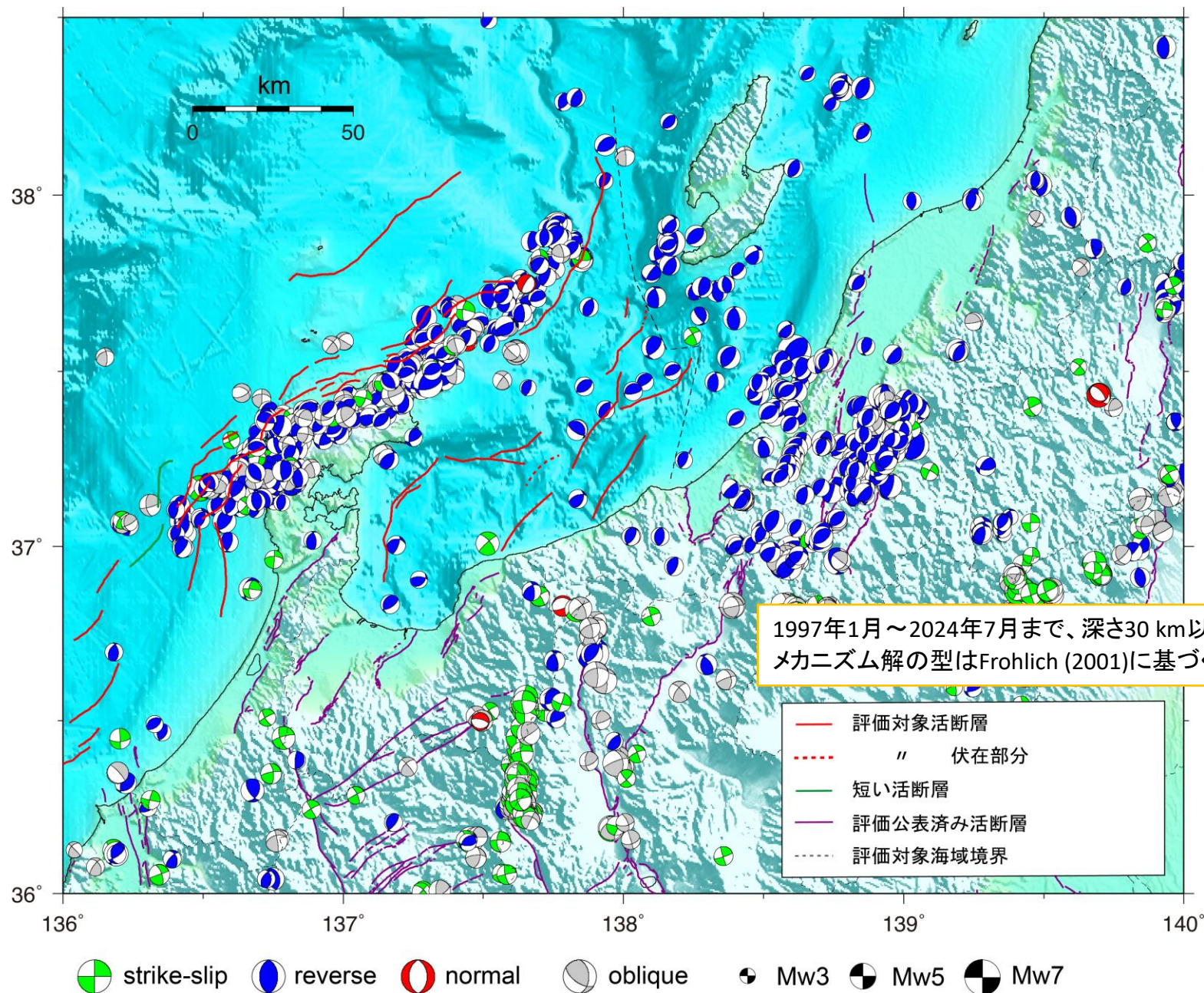
1997年1月～2024年7月まで、深さ30 km以浅、メカニズム解の型はFrohlich (2001)に基づく



発震機構解の分布(F-net:西半部)



発震機構解の分布(F-net: 東半部)



発震機構解の分布(気象庁初動解)

